

第56回建築士会全国大会しまね大会紹介

7) 島根のまちなみ 出雲部 1 松江市

松江は観光城下町として売っています。しかし、城下町の雰囲気はまとまって残っているのは松江城周辺に限られます。特に塩見縄手と呼ばれる城の北側お堀端の通りです。

松の並木がいろいろ、近世からの武家屋敷も2,3残っています。500石程度の中級武士の住まいでした。塩見氏という異例の出世を遂げた武士の住まいが一時期



塩見縄手周辺 松江市北堀町



あったというので、その名前が付いたとされています。松江は湿地から新たに作られた町ですので、道路もその時に出来ています。近世のまちづくりは陰陽五行に基づくものです。従って木火土金水のそれぞれを配置し、主要な道路は東西南北にきれいに並行します。細い路地、住宅街の一角には昔の雰囲気を残すところ



もあります。特に紹介したいのは、石橋町のまちなみです。町人街の一角で、町割りも武家地ほどきちんとしていませ



石橋町界限



ん。商家であった

町屋、酒蔵、醤油屋などが近世のまちなみを伝えます。松江にいらしたらぜひ船でお堀めぐりをしてみてくだ



さい。1時間ほどのコースですが、松江のまちを水面の高さから見るのもいいものです。運が良ければカワセミにも出会えます。



堀川遊覧船からのながめ